



# 学校だより



令和7年11月28日

12月号

調布市立第一小学校

校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

## 歌詞に込めた思い

副校長 山崎 清香

11月21日(金)22日(土)にひばり音楽祭を本校にて開催いたしました。22日には、多くの保護者の皆様や、地域の方々に温かい拍手や励ましの言葉をたくさんいただきました。感謝申し上げます。

子どもたちは、今回のスローガン『みんなで思い出に残るハーモニーをかなでよう』を胸に練習に励みました。低学年の可愛らしく、そして元気な歌声に思わず微笑んだり、高学年の美しい歌声、迫力や壮大さを感じる合奏に聴き入ったりする皆様の姿を見てとてもうれしく思いました。

ひばり音楽祭の当日に至るまで、担任や音楽専科は学年の子どもたちの良さを引き出す選曲をし、難しい曲にも挑戦させてきました。子どもたちは毎日コツコツ練習に取り組むことで、できなかったことができるようになってきました。だからこそ、あきらめずに練習し、努力することの大切さを感じることができた子どもは、とても多いです。

また、この音楽祭を通して、曲や歌詞に合わせて気持ちをこめて演奏する大切さについても学ぶことができたという振り返りも、聞かれています。練習の中では、ただ音を合わせるだけでなく、「この曲はどんな情景を思い浮かべる?」「どんな気持ちを届けたい?」と問いかけ合い、表情や強弱、息づかいまで工夫していく姿が見られました。



6年生は「音楽に思いを込めて」というテーマで演奏に取り組み、合唱では、『地球星歌』を見事に歌い上げました。この曲の作詞・作曲者は、出会った人たちへの感謝と、これから出会う人たちへの思い、そして一生出会うことがなくても、同じ地球を分け合う全ての人達への思いを込めて作られたそうです。6年生は、歌詞の意味を話し合うことで、演奏にどんどん、深みが増していきました。

戦いではなく、手を取り合おう  
壊すのではなく、守り合おう  
平和を、未来へつなげるために  
いのちのハーモニーを、絶やさないために  
いま 平和を ここから うたおう

これは『地球星歌』を歌う前の6年生の台詞です。平和な世界・皆が幸せになれる未来は、どこかの誰かが創ってくれるのではなく、自分達が創らなければならない。平和を願い、平和のためにできることを、皆で手を取り合っていこう。そんな「強い意志」を感じ取っていただけたのではないかと思います。

音楽を通じて表現できることの楽しさ、うれしさ、音楽で人の心を動かすことの素晴らしさを感じることができた日となりました。

第一小の子どもたちが心豊かに生き生きと成長していけるよう、これからも皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

## 12月の生活目標 身のまわりの整理整頓をしよう

学習用具など、自分の持ち物を整理できているでしょうか。学習の準備を手際よくするためにも、整理整頓の習慣を育て、物をなくしたり落としたりしないで大切にすることを養っていききたいと思います。